真校魅力だより その⑳

真室川校の伝統と誇りをつなぐ ～真校祭・CM大賞～

◆真校祭（真型フェス THE FINAL ～新たな真時代をみんなで創り出そう！～）

10月29日（土）に「真校祭」が開催されました。３年ぶりに一般公開され、生徒たちの模擬店やＰＴＡによる焼きそばの無料提供も行われました。

クラスステージや縦割り班の発表、吹奏楽部の演奏や郷土研究ＰＣ部の展示、音楽選択者のハンドベルや箏（こと）の演奏など盛りだくさんの内容に、生徒たちは一人何役もこなしながらも笑顔の絶えない学校祭となりました。真校祭に訪れた栗田愛梨さん（真中３年）は「真校には何度かお邪魔したことがありますが、真校祭はとても雰囲気が良く、催し物や展示など興味深いものばかりで楽しかったです」と感想を述べてくれました。

◆ふるさとＣＭ大賞「マムロガワクジラ」の撮影と番組収録

12月７日（水）に放送されたふるさとＣＭ大賞の撮影は、９月21日（水）に真室川校で行われました。今年は、町内から約600万年前の大型の鯨化石（マムロガワクジラ）が発掘されてから30周年になることから、それを題材に町企画課の担当の方とともに15秒のふるさとＣＭにしました。生徒たちはＣＭ製作を初めて体験し、何度か撮り直しをしながらも楽しい撮影となりました。

番組収録に参加した髙橋小春さん（２年）は「収録では真室川町が最初でとても緊張しましたが、周りの方々から励ましていただき臨むことができました。町代表で参加できた事は貴重な体験となりました」と話してくれました。

撮影風景

ようこそ先輩!! vol.11

真室川高校の卒業生は、様々な職業に就いて多方面で幅広く活躍をしています。そんな先輩方の思いや後輩たちへのメッセージをお届けします。

～住民にかかわる大切な仕事を頑張っています～

奥村 舞（まい）さん
（平成19年度 卒業生）

新庄市役所 勤務

真室川高は少人数のため、先生方との距離がとても近く、気軽に話せるフレンドリーな関係の学校でした。私は高校生になったらアルバイトがしたいと思い、パソコン部に所属しながら３年間スーパーでバイトをしていました。進路については先生から進学を進められましたが、地元に残りたいと就職することを希望しました。卒業後、個人病院の事務として就職しましたが、公務員の仕事に就きたいと思うようになり、仕事を続けながら独学で勉強し、市役所の採用試験に合格しました。現在、税務課納税室に勤務しています。仕事は税金の徴収が主な内容ですが、納税に関する相談や租税教室の講師を務めたりもしています。税金は、皆さんの生活を支え、快適な暮らしを提供する大切な財源です。納税事務は法律の知識を要する重要な仕事で、責任もあり緊張もしますがやりがいを感じながら頑張っています。

後輩の皆さんは、高校時代にやっておけば良かったと後悔しないよう、様々なことに挑戦してほしいと思います。いろんな人の意見を参考に自分はどうしたいかを考え、社会で頑張ってほしいです。